

施策評価調書(29年度実績)

施策コード - 2 - (3)

| | | | | | | |
|------|-----|-----------------------------|-------|-------------|---------|----|
| 政策体系 | 施策名 | 高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築 | 所管部局名 | 福祉保健部 | 長期総合計画頁 | 43 |
| | 政策名 | 健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~ | 関係部局名 | 福祉保健部、商工労働部 | | |

【 . 主な取り組み】

| | | | |
|------|-----------------|------------------|----------|
| 取組 | | | |
| 取組項目 | 生きがいづくりや社会参画の促進 | 安心して暮らせる基盤づくりの推進 | 認知症施策の推進 |

【 . 目標指標】

| | 指 標 | 関連する 取組 | 基準値 | | 29年度 | | | 31年度 | 36年度 | 目標達成度(%) | | | | |
|--|---------------------------|------------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------------|----------|----|----|-----|-----|
| | | | 年度 | 基準値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 目標値 | 25 | 50 | 75 | 100 | 125 |
| | 65歳以上のボランティア活動参加者数(人) | | H26 | 18,173 | 18,800 | 19,730 | 104.9% | 19,200 | 20,000 | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |
| | 要介護認定を受けていない高齢者割合の全国順位(位) | | H26 | 24 | 15 | 16 | 97.0% | 11 | 全国 トップレベル | ■ | ■ | ■ | ■ | ■ |

【 . 指標による評価】

| 評価 | 理 由 等 | 平均評価 |
|------|--|------|
| 達成 | ボランティア登録者(団体)の掘り起こしに努めるとともに、新規登録者に対し各種研修を実施し、実際の活動へ円滑に移行できるよう支援した結果、目標値を達成した。 | 達成 |
| 概ね達成 | 医療職、理学療法士などのリハ職、栄養士等、多職種が協働する地域ケア会議を通じた自立支援型ケアマネジメントの推進、介護予防体操の普及など介護予防の取組強化により目標値を概ね達成した。 | |

【 . 指標以外の観点からの評価】

| 取組 | 指標以外の観点からの評価 |
|----|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者による生活支援等の新規事業の立ち上げを行う団体に対して助成し、取組を支援した。(66団体) ・70歳以上までの継続雇用制度導入割合は26.4%。(前年比+2.0%) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・無薬局地域(高齢者が徒歩で薬局に行くことが困難な地域)を対象に、お薬健康相談会を75回実施した。 ・医療・介護連携のモデル市(津久見市、竹田市、豊後高田市)において、医師が参加する地域ケア会議や医療・介護職を対象とした多職種研修等(計11回)を実施し、地域包括ケアシステム構築を推進した。 ・業務効率化の取組事例の冊子を作成し、好事例の横展開を図ったことにより、介護職員の有給取得率が15.6%向上した施設もあった。 ・由布市において地域医療介護ネットワークを整備したことで、医療・介護関係者間で適時適切な情報共有が促進され、より質の高い医療・介護サービスを提供できるようになった。(ネットワーク整備:41施設) |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策プロデュース委員会を開催し(4回)、行政、医療、介護及び民間企業による認知症施策の総合的な推進を図った。 ・認知症の人や家族が気軽に集える認知症カフェの設置を推進するため、フォーラムの開催やガイドブックの作成等を行った。 ・大分県警察、地域包括支援センターと連携し、運転免許更新時の認知機能検査で認知症のおそれあり(第一分類)と判定された人に対し、相談・支援を行う体制づくりを行った。 |

【 . 施策に対する意見・提言】

| | |
|---|--|
| <p>大分県高齢者福祉施策推進協議会 (H30.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の自立支援・介護予防の取組に加え、今後は医療と介護の連携を強化し、要介護者が在宅で安心して療養できる体制を充実させて欲しい。 ・認知症の人への早期診断・早期対応を強化するとともに、その家族に対する支援策に力を入れてもらいたい。 | <p>大分県シニア雇用推進協議会(H29.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度にシニア世代向けに就業に関する意識調査を行うということで、ある程度現状は分かると思うので、あまり手を広げすぎずに、合同企業説明会等のわかりやすい事業をやってもらいたい。 |
|---|--|

【 . 総合評価と今後の施策展開について】

| 総合評価 | 施策展開の具体的内容 |
|------|--|
| A | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援事業を立ち上げる高齢者の団体を助成対象に追加し、元気な高齢者が地域を支える活動の支援を拡大する。 ・高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、医療・介護連携の強化やリハビリ専門職等に向けたスキルアップ研修などを実施し、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。 ・業務効率化・生産性向上の取組事例の横展開に加え、さらなる好事例の蓄積・展開を図ることで、介護事業所における業務改善・働き方改革を推進する。 ・各市町村の認知症地域支援推進員の活動を支援することで、認知症の早期診断・早期対応による重症化予防体制の強化を図る。また、若年層家族介護者や介護職員への支援を強化し、市町村を越えた見守り体制を整備することで、認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制を構築する。 ・シニア雇用推進員が県内企業を訪問しシニアが働きやすい環境整備を進めるとともに、働くことに意欲のあるシニアを掘り起こして合同企業説明会等でのマッチングにつなげていく。 |

【 . 施策を構成する主要事業】

| 取組 | 事業名(29年度事業) | 事業コスト(千円) | 事務事業評価 | | 主要な施策の成果掲載頁 |
|----|--------------------|-----------|--------|----------|-------------|
| | | | 総合評価 | 30年度の方向性 | |
| | いきいき高齢者地域活動推進事業 | 14,962 | B | 継続・見直し | 74 |
| | 地域服薬健康相談事業 | 3,368 | B | 継続・見直し | 75 |
| | 地域包括ケアシステム構築推進事業 | 28,459 | A | 継続・見直し | 76 |
| | 介護サービスクオリティ向上事業 | 6,298 | A | 継続・見直し | 77 |
| | 地域医療介護ネットワーク構築推進事業 | 6,571 | A | 終了 | 78 |
| | 市町村認知症施策強化推進事業 | 8,849 | A | 終了 | 79 |